

退院当日の算定のルール

	医療保険	介護保険																							
対象者	小児等40歳未満の者、要介護者・要支援者以外	要支援者・要介護者	<p>※ 1 : 厚生労働大臣が定める疾病等（別表第7）</p> <table> <tbody> <tr><td>末期の悪性腫瘍</td><td>亜急性硬化性全脳炎</td></tr> <tr><td>多発性硬化症</td><td>ライソゾーム病</td></tr> <tr><td>重症筋無力症</td><td>副腎白質ジストロフィー</td></tr> <tr><td>スモン</td><td>脊髄性筋萎縮症</td></tr> <tr><td>筋萎縮性側索硬化症</td><td>球脊髄性筋萎縮症</td></tr> <tr><td>脊髄小脳変性症</td><td>慢性炎症性脱髓性多発神経炎</td></tr> <tr><td>ハンチントン病</td><td>後天性免疫不全症候群</td></tr> <tr><td>進行性筋ジストロフィー症</td><td>頸髄損傷</td></tr> <tr><td>パーキンソン病関連疾患</td><td>人工呼吸器を使用している状態</td></tr> <tr><td>多系統萎縮症</td><td></td></tr> <tr><td>プリオントン病</td><td></td></tr> </tbody> </table>	末期の悪性腫瘍	亜急性硬化性全脳炎	多発性硬化症	ライソゾーム病	重症筋無力症	副腎白質ジストロフィー	スモン	脊髄性筋萎縮症	筋萎縮性側索硬化症	球脊髄性筋萎縮症	脊髄小脳変性症	慢性炎症性脱髓性多発神経炎	ハンチントン病	後天性免疫不全症候群	進行性筋ジストロフィー症	頸髄損傷	パーキンソン病関連疾患	人工呼吸器を使用している状態	多系統萎縮症		プリオントン病	
末期の悪性腫瘍	亜急性硬化性全脳炎																								
多発性硬化症	ライソゾーム病																								
重症筋無力症	副腎白質ジストロフィー																								
スモン	脊髄性筋萎縮症																								
筋萎縮性側索硬化症	球脊髄性筋萎縮症																								
脊髄小脳変性症	慢性炎症性脱髓性多発神経炎																								
ハンチントン病	後天性免疫不全症候群																								
進行性筋ジストロフィー症	頸髄損傷																								
パーキンソン病関連疾患	人工呼吸器を使用している状態																								
多系統萎縮症																									
プリオントン病																									
退院日の訪問看護		原則、算定不可	<p>※ 2 : 厚生労働大臣が定める状態（別表第8）</p> <ul style="list-style-type: none"> イ 在宅悪性腫瘍等患者指導管理若しくは在宅気管切開患者指導管理を受けている状態又は気管カニューレ若しくは留置カテーテルを使用している状態 <ul style="list-style-type: none"> □ 以下のいずれかを受けている状態にある者 <ul style="list-style-type: none"> 在宅自己腹膜灌流指導管理 在宅血液透析指導管理 在宅酸素療法指導管理 在宅中心静脈栄養法指導管理 在宅成分栄養経管栄養法指導管理 在宅自己導尿指導管理 在宅人工呼吸指導管理（別表第8のみ） 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理 在宅自己疼痛管理指導管理 在宅肺高血圧症患者指導管理 ハ 人工肛門又は人工膀胱を設置している状態 ニ 真皮を超える褥瘡の状態 ホ 点滴注射を週3日以上行う必要があると認められた状態（在宅患者訪問点滴注射管理指導料5を算定している者） 																						
例外として算定できる場合	<p>厚生労働大臣が定める疾病等（別表第7※1）</p> <p>厚生労働大臣が定める状態（別表第8※2）</p> <p>退院日の訪問看護が必要と認められた者</p>																								
算定方法	退院日の翌日以降初日の指定訪問看護を行ったときに退院支援指導加算を算定	訪問看護費を算定																							